適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	講義	必修	60時間

科目名	教員資格
衛生管理	薬剤師

教員実務経験対象	薬剤師としての知識と経験を活かし、美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であり、更に感染症の知識も含めその意義と原理について十分に理解させる。
評価方法	中間試験・期末試験・進級試験　70点以上、出席率80%以上
目的	公衆衛生、環境衛生、感染症等、衛生管理についての基礎を学習する
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「衛生管理」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	公衆衛生の意義と課題	
2	1	公衆衛生の意義と課題	
3	1	公衆衛生発展の歴史①	
4	1	公衆衛生発展の歴史①	
5	1	公衆衛生発展の歴史②	
6	1	理容師・美容師と公衆衛生	
7	1	理容師・美容師と公衆衛生	
8	1	保健所と理容業・美容業	
9	1	保健所と理容業・美容業	
10	1	中間試験	
11	1	保健	
12	1	保健	
13	1	環境衛生の概要	
14	1	環境衛生の概要	
15	1	空気環境	
16	1	空気環境	
17	1	衣服・住居の衛生	
18	1	衣服・住居の衛生	
19	1	上・下水道と廃棄物	
20	1	上・下水道と廃棄物	
21	1	期末試験	
22	1	衛生害虫とネズミ	
23	1	衛生害虫とネズミ	
24	1	環境保全	
25	1	環境保全	
26	1	人と感染症	
27	1	人と感染症	
28	1	病原微生物①	
29	1	病原微生物①	
30	1	病原微生物②	
31	1	中間試験	
32	1	感染症の予防①	
33	1	感染症の予防①	

34	1	感染症の予防②	
35	1	感染症の予防②	
36	1	理容・美容と感染症	
37	1	理容・美容と感染症	
38	1	主な感染症①	
39	1	主な感染症①	
40	1	主な感染症②	
41	1	主な感染症②	
42	1	期末試験	
43	1	具体的な対策の例①	
44	1	具体的な対策の例①	
45	1	具体的な対策の例②	
46	1	具体的な対策の例②	
47	1	消毒とは	
48	1	消毒とは	
49	1	消毒の意義	
50	1	消毒の意義	
51	1	中間試験	
52	1	理容・美容の業務と消毒の関係	
53	1	理容・美容の業務と消毒の関係	
54	1	消毒法と適用上の注意①	
55	1	消毒法と適用上の注意①	
56	1	消毒法と適用上の注意②	
57	1	理学的消毒法（殺菌法）①	
58	1	理学的消毒法（殺菌法）①	
59	1	理学的消毒法（殺菌法）②	
60	1	進級試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	30時間

科目名	教員資格
衛生管理	薬剤師

教員実務経験対象	薬剤師としての知識と経験を活かし、美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であり、更に感染症の知識も含めその意義と原理について十分に理解させる。
評価方法	中間試験・期末試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	公衆衛生、環境衛生、感染症等、衛生管理についての基礎を学習する
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「衛生管理」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	化学的消毒法（殺菌法）①	
2	1	化学的消毒法（殺菌法）①	
3	1	化学的消毒法（殺菌法）②	
4	1	化学的消毒法（殺菌法）②	
5	1	中間試験	
6	1	すぐれた消毒法とその実施上の注意	
7	1	すぐれた消毒法とその実施上の注意	
8	1	各種消毒薬①	
9	1	各種消毒薬①	
10	1	各種消毒薬②	
11	1	期末試験	
12	1	理容所・美容所の消毒の実際①	
13	1	理容所・美容所の消毒の実際①	
14	1	理容所・美容所の消毒の実際②	
15	1	理容所・美容所の消毒の実際②	
16	1	理容所・美容所の清潔法の実際①	
17	1	理容所・美容所の清潔法の実際①	
18	1	理容所・美容所の清潔法の実際②	
19	1	理容所・美容所の清潔法の実際②	
20	1	中間試験	
21	1	理容所及び美容所における衛生管理要領①	
22	1	理容所及び美容所における衛生管理要領①	
23	1	理容所及び美容所における衛生管理要領②	
24	1	理・美容所の自主管理点検表	
25	1	理・美容所の自主管理点検表	
26	1	期末試験	
27	1	卒業試験	
28	1	国家試験対策①	
29	1	国家試験対策②	
30	1	国家試験対策③	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	30時間

科目名	教員資格
保健（人体構造）	薬剤師

教員実務経験対象	薬剤師としての知識と経験を活かし、美容技術の基礎となる人体について、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる。
評価方法	中間試験・期末試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	身体の構造・保健基礎について理解を深める
達成目標	美容師国家試験合格の知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「保健」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学①	
2	1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学①	
3	1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②	
4	1	骨格系①	
5	1	骨格系①	
6	1	骨格系②	
7	1	中間試験	
8	1	筋系①	
9	1	筋系①	
10	1	筋系②	
11	1	神経系①	
12	1	神経系①	
13	1	神経系②	
14	1	期末試験	
15	1	感覚器系①	
16	1	感覚器系①	
17	1	感覚器系②	
18	1	血液・循環器系①	
19	1	血液・循環器系①	
20	1	血液・循環器系②	
21	1	中間試験	
22	1	呼吸器系①	
23	1	呼吸器系①	
24	1	呼吸器系②	
25	1	消化器系①	
26	1	消化器系①	
27	1	消化器系②	
28	1	期末試験	
29	1	卒業試験	
30	1	国家試験対策	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	60時間

科目名	教員資格
保健（皮膚科学）	薬剤師

教員実務経験対象	薬剤師としての知識と経験を活かし、美容技術の基礎となる人体について、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる。
評価方法	中間試験・期末試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	身体の構造・保健基礎について理解を深める
達成目標	美容師国家試験合格の知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「保健」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	皮膚の表面	
2	1	皮膚の断面	
3	1	表皮	
4	1	表皮と真皮の境	
5	1	真皮	
6	1	皮下組織	
7	1	皮膚の部位差	
8	1	毛	
9	1	脂腺（皮脂腺）	
10	1	汗腺	
11	1	爪	
12	1	中間試験	
13	1	皮膚の欠陥	
14	1	皮膚のリンパ管	
15	1	皮膚の神経	
16	1	対外保護作用	
17	1	体温調節作用	
18	1	知覚作用と皮膚反射	
19	1	分泌排泄作用	
20	1	呼吸作用	
21	1	吸収作用	
22	1	貯蔵作用	
23	1	免疫・解毒・排除作用	
24	1	再生作用	
25	1	毛のはたらき	
26	1	爪のはたらき	
27	1	期末試験	
28	1	皮膚と全身状態	
29	1	皮膚と精神	
30	1	皮膚と栄養	
31	1	皮膚とし好品	
32	1	皮膚と体内病変	
33	1	皮膚の水分と脂の状態	

34	1	皮膚・付属器官とホルモン	
35	1	皮膚の保護と手入れ	
36	1	爪の保護と手入れ	
37	1	子どものおしゃれによる皮膚トラブル	
38	1	中間試験	
39	1	皮膚の異常とその種類	
40	1	皮膚疾患の原因	
41	1	皮膚疾患の治療法	
42	1	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹	
43	1	口唇の疾患	
44	1	温熱・寒冷による皮膚障害	
45	1	角化異常による皮膚疾患	
46	1	色素以上による皮膚疾患	
47	1	血管腫（アカアザ）	
48	1	脂腺母斑	
49	1	下肢静脈瘤	
50	1	分泌異常による皮膚疾患	
51	1	化膿菌による皮膚疾患	
52	1	ウイルスによる皮膚疾患	
53	1	真菌による皮膚疾患	
54	1	衛生害虫による皮膚疾患	
55	1	感染症の皮膚疾患の予防	
56	1	毛と爪の疾患	
57	1	皮膚の腫瘍	
58	1	期末試験	
59	1	卒業試験	
60	1	国家試験対策	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	講義	必修	40時間

科目名	教員資格
香粧品化学	薬剤師

教員実務経験対象	薬剤師としての知識と経験を活かし、香粧品は、美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、正確な科学的知識と合理的な取り扱い方法を習熟させ、香粧品による危害を防止するための使用上の注意を理解させる。
評価方法	中間試験・期末試験・進級試験　70点以上、出席率80%以上
目的	美容業に必要な香粧品化学についての化学知識について理解を深める
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「香粧品化学」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	香粧品とは	
2	1	香粧品と造形	
3	1	香粧品の効果と使用プロセス	
4	1	香粧品の使用による症状	
5	1	香粧品の使用による症状	
6	1	香粧品の定義と法律制	
7	1	香粧品の定義と法律制	
8	1	中間試験	
9	1	香粧品の定義と法律制	
10	1	香粧品の定義と法律制	
11	1	香粧品の安全性と安定性	
12	1	香粧品の安全性と安定性	
13	1	香粧品の成り立ち	
14	1	水と親水性溶媒	
15	1	水と親水性溶媒	
16	1	期末試験	
17	1	油性原料	.
18	1	油性原料	
19	1	界面活性剤	
20	1	界面活性剤	
21	1	界面活性剤	
22	1	高分子化合物	
23	1	中間試験	
24	1	色材	
25	1	色材	
26	1	色材	
27	1	香料	
28	1	香料	
29	1	製品を安定させる配合原料	
30	1	その他の機能性配合原料	
31	1	雑貨原料	
32	1	期末試験	
33	1	香粧品の効果と使用プロセス	

34	1	クレンジング用香粧品	
35	1	クレンジング用香粧品	
36	1	コンディショニング用香粧品	
37	1	コンディショニング用香粧品	
38	1	トリートメント用香粧品	
39	1	トリートメント用香粧品	
40	1	進級試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	20時間

科目名	教員資格
香粧品化学	薬剤師

教員実務経験対象	薬剤師としての知識と経験を活かし、香粧品は、美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、正確な科学的知識と合理的な取り扱い方法を習熟させ、香粧品による危害を防止するための使用上の注意を理解させる。
評価方法	中間試験・期末試験　70点上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	美容業に必要な香粧品化学についての化学知識について理解を深める
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「香粧品化学」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	メイクアップ製品の種類と剤形	
2	1	ベースアップ香粧品	
3	1	ポイントメイクアップ香粧品	
4	1	アイメイクアップ製品	
5	1	まつ毛ケア製品	
6	1	ネイルメイクアップ製品	
7	1	ヘアクレンジング用香粧品	
8	1	ヘアコンディショニング用香粧品	
9	1	ヘアスタイリング料	
10	1	パーマ剤	
11	1	パーマ剤	
12	1	ヘアカラー製品	
13	1	ヘアカラー製品	
14	1	スキャルプケア製品	
15	1	期末試験	
16	1	卒業試験	
17	1	国家試験対策①	
18	1	国家試験対策②	
19	1	国家試験対策③	
20	1	国家試験対策④	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	講義	必修	75時間

科目名	教員資格
美容技術理論Ⅰ	美容師

教員実務経験対象	美容師としての経験を基に、美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる。美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取扱い方法と美容の基礎的技術とをサロンワークに即して指導し習熟させること。あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。
評価方法	中間試験・期末試験・進級試験　70点以上、出席率80%以上
目的	美容技術の理論を学び、理論に基づいた適切な技術を行う
達成目標	基礎理論に基づいた正確な技術修得を目指し、美容師国家試験合格の知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「美容技術理論1」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	美容技術理論を学ぶにあたって	
2	1	美容技術理論を学ぶにあたって	
3	1	美容用具①	
4	1	美容用具①	
5	1	美容用具②	
6	1	美容用具②	
7	1	美容用具③	
8	1	美容用具③	
9	1	シャンプーイング①	
10	1	シャンプーイング①	
11	1	シャンプーイング②	
12	1	シャンプーイング②	
13	1	シャンプーイング③	
14	1	シャンプーイング③	
15	1	中間試験	
16	1	ヘアデザイン①	
17	1	ヘアデザイン①	
18	1	ヘアカッティング①	
19	1	ヘアカッティング①	
20	1	ヘアカッティング②	
21	1	ヘアカッティング②	
22	1	ヘアカッティング③	
23	1	ヘアカッティング③	
24	1	ヘアカッティング④	
25	1	ヘアカッティング④	
26	1	ヘアカッティング⑤	
27	1	ヘアカッティング⑤	
28	1	期末試験	
29	1	パーマネントウエービング①	
30	1	パーマネントウエービング①	
31	1	パーマネントウエービング②	
32	1	パーマネントウエービング③	
33	1	パーマネントウエービング③	
34	1	パーマネントウエービング④	

35	1	パーマネントウエービング⑤	
36	1	パーマネントウエービング⑤	
37	1	パーマネントウエービング⑥	
38	1	パーマネントウエービング⑦	
39	1	パーマネントウエービング⑦	
40	1	パーマネントウエービング⑧	
41	1	パーマネントウエービング⑨	
42	1	パーマネントウエービング⑨	
43	1	パーマネントウエービング⑩	
44	1	中間試験	
45	1	ヘアセッティング①	
46	1	ヘアセッティング①	
47	1	ヘアセッティング②	
48	1	ヘアセッティング③	
49	1	ヘアセッティング③	
50	1	ヘアセッティング④	
51	1	ヘアセッティング⑤	
52	1	ヘアセッティング⑤	
53	1	ヘアセッティング⑥	
54	1	ヘアセッティング⑦	
55	1	ヘアセッティング⑦	
56	1	ヘアセッティング⑧	
57	1	ヘアセッティング⑨	
58	1	ヘアセッティング⑨	
59	1	ヘアセッティング⑩	
60	1	期末試験	
61	1	ヘアカラーリング①	
62	1	ヘアカラーリング①	
63	1	ヘアカラーリング②	
64	1	ヘアカラーリング②	
65	1	ヘアカラーリング③	
66	1	ヘアカラーリング③	
67	1	ヘアカラーリング④	
68	1	ヘアカラーリング⑤	
69	1	ヘアカラーリング⑤	
70	1	ヘアカラーリング⑥	
71	1	ヘアカラーリング⑦	
72	1	ヘアカラーリング⑦	
73	1	ヘアカラーリング⑧	
74	1	ヘアカラーリング⑧	
75	1	進級試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	75時間

科目名	教員資格
美容技術理論Ⅱ	美容師

教員実務経験対象	美容師としての経験を基に、美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる。美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の正確な科学的知識と合理的思考に裏付けされた正しい取扱い方法と美容の基礎的技術とをサロンワークに即して指導し習熟させること。あわせて美容器具による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。
評価方法	中間試験・期末試験　70点上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	美容技術の理論を学び、理論に基づいた適切な技術を行う
達成目標	基礎理論に基づいた正確な技術修得を目指し、美容師国家試験合格の知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「美容技術理論2」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	エステティック①	
2	1	エステティック①	
3	1	エステティック②	
4	1	エステティック②	
5	1	エステティック③	
6	1	エステティック④	
7	1	エステティック④	
8	1	エステティック⑤	
9	1	エステティック⑥	
10	1	エステティック⑥	
11	1	エステティック⑦	
12	1	ネイル技術①	
13	1	ネイル技術①	
14	1	ネイル技術②	
15	1	ネイル技術②	
16	1	ネイル技術③	
17	1	ネイル技術④	
18	1	ネイル技術④	
19	1	ネイル技術⑤	
20	1	ネイル技術⑥	
21	1	ネイル技術⑥	
22	1	ネイル技術⑦	
23	1	中間試験	
24	1	メイクアップ①	
25	1	メイクアップ①	
26	1	メイクアップ②	
27	1	メイクアップ②	
28	1	メイクアップ③	
29	1	メイクアップ④	
30	1	メイクアップ④	
31	1	メイクアップ⑤	
32	1	メイクアップ④	
33	1	メイクアップ④	

34	1	メイクアップ⑦	
35	1	メイクアップ⑧	
36	1	メイクアップ⑧	
37	1	メイクアップ⑨	
38	1	期末試験	
39	1	日本髪①	
40	1	日本髪①	
41	1	日本髪②	
42	1	日本髪③	
43	1	日本髪③	
44	1	日本髪④	
45	1	日本髪⑤	
46	1	日本髪⑤	
47	1	日本髪⑥	
48	1	日本髪⑦	
49	1	日本髪⑦	
50	1	日本髪⑧	
51	1	日本髪⑨	
52	1	日本髪⑨	
53	1	日本髪⑩	
54	1	中間試験	
55	1	着付けの理論と技術①	
56	1	着付けの理論と技術①	
57	1	着付けの理論と技術②	
58	1	着付けの理論と技術③	
59	1	着付けの理論と技術③	
60	1	着付けの理論と技術④	
61	1	着付けの理論と技術⑤	
62	1	着付けの理論と技術⑤	
63	1	着付けの理論と技術⑥	
64	1	着付けの理論と技術⑦	
65	1	着付けの理論と技術⑦	
66	1	着付けの理論と技術⑧	
67	1	着付けの理論と技術⑨	
68	1	着付けの理論と技術⑨	
69	1	着付けの理論と技術⑩	
70	1	期末試験	
71	1	卒業試験	
72	1	国家試験対策①	
73	1	国家試験対策②	
74	1	国家試験対策③	
75	1	国家試験対策④	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習・講義	必修	450時間

科目名	教員資格
美容実習Ⅰ	美容師

教員実務経験対象	美容師としての経験を基に、美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実践方法を身に付ける。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
評価方法	実技試験・進級試験　70点以上、出席率80%以上
目的	美容師として必要な基礎技術を習得する
達成目標	基礎技術を身につけ、美容師国家試験合格を目指す
教科書	日本理容美容教育センター「美容実習1・2」

授業の内容

時間数		項目	備考
		クロス掛け	
		ブラッシング	
		すすぎ（サイドシャンプー）	
		シャンプーイング（サイドシャンプー）	
		リンス（サイドシャンプー）	
		タイルドライとターバン（サイドシャンプー）	
		すすぎ（バックシャンプー）	
		シャンプーイング（バックシャンプー）	
		リンス（バックシャンプー）	
		タオルドライとターバン（バックシャンプー）	
		トリートメント	
		実技試験	
		ワンレングスカット	
		グラデーションカット	
		レイヤーカット	
		セイムレングスカット	
		レザーカット	
		実技試験	
		ブロッキング	
		ワインディング	
		ワインディングのバリエーション	
		実技試験	
		ヘアカーリング	
		ヘアウエービング	
		ローラーカーリング	
		ブロードライスタイリング	
		アイロンセッティング	
		アップスタイル	
		実技試験	
		酸化染毛剤	
		酸化染毛料	
		塗布技術のいろいろ	
		実技試験	
通期　合計			
450時間			

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	必修	450時間

科目名	教員資格
美容実習Ⅱ	美容師

教員実務経験対象	美容師としての経験を基に、美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実践方法を身に付ける。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
評価方法	実技試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	美容師として必要な基礎技術を習得する
達成目標	基礎技術を身につけ、美容師国家試験合格を目指す
教科書	日本理容美容教育センター「美容実習1・2」

授業の内容

時間数		項目	備考
		エステティック備品類	
		フェイシャル及びデコルテマッサージの一例	
		背中のマッサージ	
		フェイシャルパックとマスク	
		ネイルケア	
		アーティフィシャルネイル	
		ネイルアート	
		手と足のマッサージ	
		スキンケア	
		ベースメイクアップ	
		アイメイクアップ	
		アイブロウメイクアップ	
		リップメイクアップ	
		ブラッシュオンメイクアップ	
		ひとりの顔から5つの表情を引き出す	
		特別に輝きたい日のために	
		まつ毛エクステンション	
		留袖着付け技術	
		振袖着付け技術	
		男子礼装羽織、袴着付け技術	
		女子袴着付け技術	
		打掛着付け技術	
		伝統的な花嫁化粧	
		ヘアカッティング①	
		ヘアカッティング②	
		ヘアカッティング③	
		ヘアカッティング④	
		ヘアカッティング⑤	
		ヘアカッティング⑥	
		ヘアカッティング⑦	
		ヘアカッティング⑧	
		パーマネントウエービング①	
		パーマネントウエービング②	

		パーマネントウエービング③	
		パーマネントウエービング④	
		パーマネントウエービング⑤	
		パーマネントウエービング⑥	
		パーマネントウエービング⑦	
		パーマネントウエービング⑧	
		ヘアセッティング①	
		ヘアセッティング②	
		ヘアセッティング③	
		ヘアセッティング④	
		ヘアセッティング⑤	
		ヘアセッティング⑥	
		ヘアセッティング⑦	
		ヘアセッティング⑧	
		ヘアカッティング国家試験対策	
		パーマネントウエービング国家試験対策	
		ヘアセッティング国家試験対策	
通期　合計			
450時間			

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習	必修	200時間

科目名	教員資格
美容情報・総合技術	美容師

教員実務経験対象	美容師としての経験を基に、美容業に必要な実践的な能力を高める内容に重点を置きつつ、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、社会人としての心構えを養い、さらに専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、人間性豊かな人格の形成を目指す。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	美容師として必要な基礎技術を習得する
達成目標	基礎技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
教科書	資料配布

授業の内容

時間数		項目	備考
		アップスタイル（ストレートアップ）	
		検定試験	
		アップスタイル（ストレートアレンジ）	
		検定試験	
		アップスタイル（新日本髪）	
		検定試験	
		アップスタイル（夜会巻き）	
		検定試験	
		アップスタイル（夜会巻きアレンジ）	
		検定試験	
		アップスタイル（編み込み）	
		検定試験	
		アップスタイル（サロンスタイル）	
		検定試験	
通期　合計			
200時間			

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	必修	100時間

科目名	教員資格
美容情報・総合技術	美容師

教員実務経験対象	美容師としての経験を基に、美容業に必要な実践的な能力を高める内容に重点を置きつつ、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、社会人としての心構えを養い、さらに専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、人間性豊かな人格の形成を目指す。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	美容師として必要な基礎技術を習得する
達成目標	基礎技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
教科書	資料配布

授業の内容

時間数		項目	備考
		カット＆セット（カラーカットスタイル）	
		検定試験	
		カット＆セット（レディースショート）	
		検定試験	
		カット＆セット（ペールカラーボブ）	
		検定試験	
		カット＆セット（メンズスタイル）	
		検定試験	
		カット＆セット（フィニッシング）	
		検定試験	
		パーマ（メンズフェード）	
		検定試験	
		パーマ（レディースパーマ）	
		検定試験	
通期　合計			
100時間			

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
ヘアデザイン技術Ⅰ	美容師

教員実務経験対象	全日本美容講師会創作委員、アップスタイル研究会など日本のトップレベルの講師より、より高いレベルの技術を学ぶ。美容室を経営している現役の美容師より、基礎から最新の技術まで幅広く習得し、仕事に対する取り組み方やお客様の立場に立った考え方など、実際のサロンワークさながらの指導により即戦力となる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	在学中にプロの技術を取得し、最速でのスタイリストデビューを実現する
教科書	髪書房「MINX　岡村カットレッスン」

授業の内容

時間数		項目	備考
		カット実習（ワンレングス）	
		カット実習（グラデーション）	
		カット実習（マッシュ）	
		実技試験	
		アップスタイル実習（アップクロスブレード）	
		アップスタイル実習(新日本髪)	
		アップスタイル実習（片ロール）	
		実技試験	
		サロンワーク（メンズセット）	
		サロンワーク（カラー）	
		サロンワーク（パーマ）	
		サロンワーク（ミディアムカット）	
		実技試験	
		シャンプー実習（ハンドブロー）	
		シャンプー実習（デンマン）	
		シャンプー実習（相モデル、ブロー）	
通期　合計		シャンプー実習（ヘアアイロン、カール）	
150時間		実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
ヘアデザイン技術Ⅱ	美容師

教員実務経験対象	全日本美容講師会創作委員、アップスタイル研究会など日本のトップレベルの講師より、より高いレベルの技術を学ぶ。美容室を経営している現役の美容師より、基礎から最新の技術まで幅広く習得し、仕事に対する取り組み方やお客様の立場に立った考え方など、実際のサロンワークさながらの指導により即戦力となる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	在学中にプロの技術を取得し、最速でのスタイリストデビューを実現する
教科書	髪書房「MINX　岡村カットレッスン」

授業の内容

時間数		項目	備考
		カット実習（セイムレイヤー）	
		カット実習（レイヤー）	
		カット実習（造形理論）	
		カット実習（セニング）	
		カット実習（クリエイティブ・カット）	
		カット実習（クリエイティブ・ブロー）	
		カット実習（クリエイティブ・カラー）	
		実技試験	
		アップスタイル実習（新日本髪）	
		アップスタイル実習（テーマスタイル）	
		アップスタイル実習（ストレートアップ）	
		アップスタイル実習（ワンロール）	
		アップスタイル実習（本夜会）	
		実技試験	
		サロンワーク（ワンレンブロー）	
		サロンワーク（オールパーパス）	
		サロンワーク（ヘッドスパ）	
		実技試験	
		シャンプー実習（プレーン）	
		シャンプー実習（1シャン）	
		シャンプー実習（2シャン）	
		シャンプー実習（サイドシャンプー）	
通期　合計		シャンプー実習（バックシャンプー）	
150時間		実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
ブライダル技術Ⅰ	美容師

教員実務経験対象	日本着付け学術会芸術委員、1級着付け技能士の国家資格を所有。現役のブライダルスタイリストより実践的で即戦力となる、ヘアメイクやドレス・着物の着付けなど幅広く技術を習得。授業は相モデルで体型に合わせた着付けやフィッティング、同時に礼儀作法や格式、日本の歴史や色などの伝統文化を学ぶ。成人式、結婚式、卒業式などのシーンで即戦力となる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	和装着付けができる美容師となるべく、着付け検定合格を目指す
教科書	世界文化社「ひと目でわかる-きもの用語の基本」

授業の内容

時間数		項目	備考
		和装着付け実習（小紋・浴衣着付け）	
		小紋・浴衣着付け　実技試験	
		和装着付け実習（振袖着付け）	
		振袖着付け　実技試験	
		和装着付け実習（留袖着付け）	
		留袖着付け　実技試験	
通期　合計		和装着付け実習（袴着付け）	
150時間		袴着付け　実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
ブライダル技術Ⅱ	美容師

教員実務経験対象	日本着付け学術会芸術委員、1級着付け技能士の国家資格を所有。現役のブライダルスタイリストより実践的で即戦力となる、ヘアメイクやドレス・着物の着付けなど幅広く技術を習得。授業は相モデルで体型に合わせた着付けやフィッティング、同時に礼儀作法や格式、日本の歴史や色などの伝統文化を学ぶ。成人式、結婚式、卒業式などのシーンで即戦力となる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	和装着付けができる美容師となるべく、着付け検定合格を目指す
教科書	世界文化社「ひと目でわかる-きもの用語の基本」

授業の内容

時間数		項目	備考
		和装着付け実習（打掛花嫁着付け）	
		打掛花嫁着付け　実技試験	
		グラムール着付け検定　初級	
		グラムール着付け検定　中級	
		グラムール着付け検定　上級	
		ヘアメイク実習（ヘアアレンジ（和装・ドレス））	
通期　合計		ヘアメイク実習（ブライダルメイク（和装・ドレス））	
150時間		ヘアメイク実習（ショーステージ）	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
メイク技術Ⅰ	美容師

教員実務経験対象	ヘアメイク事務所に所属し、現役のヘアメイクアップアーティストとしてファッションショーやテレビ・雑誌の撮影を担当。現場力をつけるために、色彩学・形態学・生理解剖学などの知識を習得し、相モデルで授業を行いメイクの基礎から応用まで学ぶ。更にライフスタイルに合わせたヘアとメイクのトータルビューティを表現できる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	メイクアップ技術を兼ね備えたヘアとメイクのスペシャリストになる
教科書	JMA「シュウ　ウエムラ　メイクアップ　技術検定試験」

授業の内容

時間数		項目	備考
		メイク実習（スキンケア）	
		スキンケア実技試験	
		メイク実習（ベースメイク）	
		ベースメイク実技試験	
通期　合計		メイク実習（年代メイク）	
150時間		年代メイク実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
メイク技術Ⅱ	美容師

教員実務経験対象	ヘアメイク事務所に所属し、現役のヘアメイクアップアーティストとしてファッションショーやテレビ・雑誌の撮影を担当。現場力をつけるために、色彩学・形態学・生理解剖学などの知識を習得し、相モデルで授業を行いメイクの基礎から応用まで学ぶ。更にライフスタイルに合わせたヘアとメイクのトータルビューティを表現できる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	メイクアップ技術を兼ね備えたヘアとメイクのスペシャリストになる
教科書	JMA「シュウ　ウエムラ　メイクアップ　技術検定試験」

授業の内容

時間数		項目	備考
		メイク実習（イメージメイク）	
		イメージメイク実技試験	
		メイク実習（アートメイク）	
		アートメイク実技試験	
		メイク実習（サロンワーク）	
		ヘアメイク実習（和装ヘアメイク）	
通期　合計		ヘアメイク実習（ブライダルヘアメイク）	
150時間		ヘアメイク実習（ショーステージ）	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
エステ技術Ⅰ	美容師・エステティシャン

教員実務経験対象	一般社団法人　日本エステティック協会認定指導講師として指導者としても活躍。人の身体にかかわる仕事として、人体の構造や精神、皮膚の知識、さらに化粧品・美容器具の取扱いなどの理論を習得。授業は相モデルで接客を意識し、普段から気配り・心配りができるように実践を意識し即戦力となる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	認定エステティシャン資格取得を目指す
教科書	日本エスティック協会「標準エスティック学　理論編、認定エスティシャン　試験例題集」

授業の内容

時間数		項目	備考
		サロンワーク	
		クレンジング	
		クレンジング　実技試験	
		パック実習	
		パック実習　実技試験	
		フェイシャルエステ	
		フェイシャルエステ　実技試験	
通期　合計		ボディエステ	
150時間		ボディエステ　実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
エステ技術Ⅱ	美容師・エステティシャン

教員実務経験対象	一般社団法人　日本エステティック協会認定指導講師として指導者としても活躍。人の身体にかかわる仕事として、人体の構造や精神、皮膚の知識、さらに化粧品・美容器具の取扱いなどの理論を習得。授業は相モデルで接客を意識し、普段から気配り・心配りができるように実践を意識し即戦力となる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	認定エステティシャン資格取得を目指す
教科書	日本エスティック協会「標準エスティック学　理論編、認定エスティシャン　試験例題集」

授業の内容

時間数		項目	備考
		エステティック機器	
		エステティック機器　実技試験	
		ワックス脱毛	
		ワックス脱毛　実技試験	
		リンパドレナージュ	
		リンパドレナージュ　実技試験	
通期　合計		リフレクソロジー	
150時間		リフレクソロジー　実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
ネイル技術Ⅰ	美容師・ネイリスト

教員実務経験対象	NPO法人　日本ネイリスト協会常任本部認定講師　マスターエデュケーター、カルジェル公認エデュケーターとして指導者としても活躍。また数々のコンテスト優勝の実績者。「ネイリスト技能検定1級」資格取得を目指し、ネイリストとして最新の技術と丁寧な言葉遣いで即戦力で接客できる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	ネイリスト技能検定1級合格を目指す
教科書	ネイリスト協会「JNAテクニカルシステムベーシック」、 日本ネイリストセンター「ネイリスト技能検定試験公式問題集」

授業の内容

時間数		項目	備考
		ネイルケア・カラー	
		ネイルケア・カラー　実技試験	
		フラットアート	
		フラットアート　実技試験	
		リペア	
		リペア　実技試験	
通期　合計		ジェルネイル	
150時間		ジェルネイル　実技試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	実習	選択	150時間

科目名	教員資格
ネイル技術Ⅱ	美容師・ネイリスト

教員実務経験対象	NPO法人　日本ネイリスト協会常任本部認定講師　マスターエデュケーター、カルジェル公認エデュケーターとして指導者としても活躍。また数々のコンテスト優勝の実績者。「ネイリスト技能検定1級」資格取得を目指し、ネイリストとして最新の技術と丁寧な言葉遣いで即戦力で接客できる人材を育成。
評価方法	実技試験　70点以上、出席率80%以上
目的	専門技術を身につけ、就職時の即戦力となるようにする
達成目標	ネイリスト技能検定1級合格を目指す
教科書	ネイリスト協会「JNAテクニカルシステムベーシック」、 日本ネイリストセンター「ネイリスト技能検定試験公式問題集」

授業の内容

時間数		項目	備考
		イクステンション	
		イクステンション　実技試験	
		3D・エンボスアート	
		3D・エンボスアート　実技試験	
		フットケア	
		フットケア　実技試験	
		エアブラシ	
通期　合計		エアブラシ　実技試験	
150時間		検定・コンテスト対策	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	30時間

科目名	
関係法規・制度	
評価方法	中間試験・期末試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	美容業に関連する法制度の理解を理解し、美容師法や関連する法規等について 学習する
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「関連法規・制度」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	社会生活における法の役割	
2	1	社会生活における法の役割	
3	1	法の形式	
4	1	法の形式	
5	1	衛生法規の概要	
6	1	理容師法・美容師法と附属法令	
7	1	中間試験	
8	1	衛生行政の意義と歴史	
9	1	衛生行政の意義と歴史	
10	1	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	
11	1	衛生行政を担う行政機関	
12	1	衛生行政を担う行政機関	
13	1	目的	
14	1	用語の定義	
15	1	用語の定義	
16	1	期末試験	
17	1	人（理容師・美容師）に関する規定①	
18	1	人（理容師・美容師）に関する規定①	
19	1	人（理容師・美容師）に関する規定②	
20	1	施設（理容所・美容所）に関する規定	
21	1	施設（理容所・美容所）に関する規定	
22	1	中間試験	
23	1	立入検査と環境衛生監視員	
24	1	違反者等に対する行政処分	
25	1	違反者等に対する行政処分	
26	1	罰則	
27	1	関連法規	
28	1	期末試験	
29	1	卒業試験	
30	1	国家試験対策	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	講義	必修	30時間

科目名	
文化論	
評価方法	中間試験・期末試験・進級試験　70点以上、出席率80%以上
目的	日本・世界のファッションやヘアメイクの歴史を学び、理解を深める
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「文化論」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	理容業・美容業の登場	
2	1	江戸時代の理容業・美容業	
3	1	近代の理容業・美容業	
4	1	現代の理容業・美容業	
5	1	中間試験	
6	1	縄文・弥生・古墳時代	
7	1	古代（飛鳥・奈良・平安時代）	
8	1	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）	
9	1	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）	
10	1	期末試験	
11	1	近世Ⅱ（江戸時代）	
12	1	近代（明治・大正・昭和20年まで）	
13	1	現代Ⅰ（1945年～1950年代）	
14	1	現代Ⅱ（1960年代～1970年代）	
15	1	中間試験	
16	1	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）	
17	1	現代Ⅳ（2000年代以降）	
18	1	古代エジプト	
19	1	古代ギリシャ・ローマ	
20	1	期末試験	
21	1	古代ゲルマン	
22	1	中世ヨーロッパ	
23	1	近世Ⅰ（16世紀）	
24	1	近世Ⅰ（16世紀）	
25	1	中間試験	
26	1	近世Ⅱ（17世紀）	
27	1	近世Ⅱ（17世紀）	
28	1	近世Ⅲ（18世紀）	
29	1	近世Ⅲ（18世紀）	
30	1	進級試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	30時間

科目名	
文化論	
評価方法	中間試験・期末試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	日本・世界のファッションやヘアメイクの歴史を学び、理解を深める
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「文化論」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）	
2	1	近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）	
3	1	近代Ⅱ（19世紀）	
4	1	近代Ⅱ（19世紀）	
5	1	現代Ⅰ（1910年代～1920年代）	
6	1	現代Ⅰ（1910年代～1920年代）	
7	1	中間試験	
8	1	現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）	
9	1	現代Ⅱ（1930年代～1940年代前半）	
10	1	現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）	
11	1	現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）	
12	1	現代Ⅳ（1960年代）	
13	1	現代Ⅳ（1960年代）	
14	1	期末試験	
15	1	現代Ⅴ（1970年代）	
16	1	現代Ⅴ（1970年代）	
17	1	現代Ⅵ（1980年代）	
18	1	現代Ⅵ（1980年代）	
19	1	現代Ⅶ（1990年代～2010年）	
20	1	現代Ⅶ（1990年代～2010年）	
21	1	中間試験	
22	1	和装の礼装	
23	1	和装の礼装	
24	1	洋装の礼装	
25	1	洋装の礼装	
26	1	期末試験	
27	1	卒業試験	
28	1	国家試験対策①	
29	1	国家試験対策②	
30	1	国家試験対策③	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	1年	通期	講義	必修	10時間

科目名	
運営管理	
評価方法	中間試験・期末試験・進級試験　70点以上、出席率80%以上
目的	就職時の心構え、美容業界における経営の在り方・ビジネス感覚を理解・学習する 美容室の店長・経営者の立場に立ち、運営に役立つビジネス感覚や接客を身につける
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「運営管理」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	経営とは・経営者とは①	
2	1	経営とは・経営者とは①	
3	1	経営とは・経営者とは②	
4	1	経営とは・経営者とは②	
5	1	経営とは・経営者とは②	
6	1	理容業・美容業の経営について①	
7	1	理容業・美容業の経営について①	
8	1	理容業・美容業の経営について②	
9	1	理容業・美容業の経営について②	
10	1	進級試験	

適用年度	対象学年	開校学期	授業方法	科目区分	時間数
2024年度	2年	通期	講義	必修	20時間

科目名	
運営管理	
評価方法	中間試験・期末試験　70点以上、卒業試験　80点以上、出席率80%以上
目的	就職時の心構え、美容業界における経営の在り方・ビジネス感覚を理解・学習する 美容室の店長・経営者の立場に立ち、運営に役立つビジネス感覚や接客を身につける
達成目標	美容師国家試験合格レベルの知識を習得する
教科書	日本理容美容教育センター「運営管理」

授業の内容

時間数		項目	備考
1	1	資金の管理	
2	1	資金の管理	
3	1	人という資源	
4	1	人という資源	
5	1	中間テスト	
6	1	健康・安全な職場環境の実現	
7	1	健康・安全な職場環境の実現	
8	1	従業員としての視点から	
9	1	従業員としての視点から	
10	1	期末試験	
11	1	サービス・デザイン	
12	1	サービス・デザイン	
13	1	マーケティング	
14	1	マーケティング	
15	1	中間試験	
16	1	サービスにおける人の役割	
17	1	サービスにおける人の役割	
18	1	期末試験	
19	1	卒業試験	
20	1	国家試験対策	